

令和7年度小学校教科教育推進研修（国語科）研修成果物

指導者 府中市立国府小学校 井藤 加奈子
第6学年 2組 26名

- 1 単元名 日本文化のみりよくを伝えよう！
『鳥獣戯画』を読む「発見、日本文化のみりよく」（光村図書「国語 六 創造」）

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年告示）国語第5学年及び第6学年の〔思考力、判断力、表現力等〕B書くこと（1）ウの指導事項「目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。」及びC読むこと（1）オの指導事項「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。」を受けて設定している。

目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力を育成するには、文章を書く目的や意図を児童自身が明確にもった上で、伝えたいことを伝えるためには詳しく書いた方が効果的であるか、簡単に書いた方がよいかを判断しながら書き表し方を工夫する必要がある。また、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる力を育成するには、文章を読んで理解したことについて、既存の知識や理解した内容と結び付けて文章に対する自分の考えを形成し、書き表すなど言語化しながらまとめることが必要となる。

本単元で扱う教材文『鳥獣戯画』を読むは、「鳥獣戯画」が現代まで伝わってきた歴史的背景や、「鳥獣戯画」に対する筆者の評価について述べられた、説明的な文章である。本単元は、「読むこと」と「書くこと」の複合単元であるため、文章の内容や構造を捉え、精査・解釈したことや文章に対する自分の考えを、自分の文章を書く際に生かすことで、2領域の資質・能力を効果的に高めることが求められる。本教材文には、筆者が「鳥獣戯画」に対して感じている価値を読み手が共感できるような表現の工夫が随所にあるため、こうした工夫を自分の文章の書き表し方の工夫に生かすことに適した特徴を有している、また、教材文の結びの一文に呼応するかたちで、教材文に対する自分の考えを形成していくことができるため、ここで考えたことを伝えるための文章を書くという目的や伝えたいことの内容を明確にすることにつながることもできる。こうしたことから、本教材は、本単元で身に付けさせたい力を身に付けるのに適しているといえる。

(2) 児童観

本学級の児童は、これまでに説明的な文章「時計の時間と心の時間」を読み、筆者は主張を述べるためにどのような事例を挙げているのかに着目して、事実と感想、意見との関係を押さえ、文章全体の構成を捉えて文章の要旨を把握する学習をしてきた。その結果、児童は「心の時間」の事例と「時計の時間」の事例の数の違いに着目することで、筆者は読者が筆者の意見に納得しながら読むことができるように文章を構成していることに気付いた。また、「心の時間」の事例を自分の経験や体験と結び付けながら読み進めることで、実感を伴った文章内容の理解に至った。この学習を通して、事例の内容にも注目して、筆者が本当に伝えたいことは何なのか考えて読む児童が増えた。しかし、文章の内容を正確に捉えられていない児童の姿も見られた。その原因として、言葉の意味を正確に理解していないことや、どのような言葉や内容に着目すれば事実と意見の区別ができるのかを理解しないままに文章を読んでいることが挙げられる。

「デジタル機器と私たち」というテーマでデジタル機器との付き合い方について提案する文章を書いた際は、伝えたいことを筋道の通った文章で書き表すために、自分の考えと理由や事例のつながりや配列を意識し、文章全体の構成や展開を工夫して文章を書く学習をした。グループで文章を読み合いながら推敲を重ねることで、読み手が自分の述べたいことについて納得できるように文章の構成を考えることにつながった。その結果、読み手を納得させるためには、事例だけでなく意見

を文章全体のどの部分でどのように述べるかについて工夫することも大切であると気づき、自分たちの意見と事例とのバランスや構成を考え、文章を書きまとめる児童が増えてきた。一方で、本単元で育成したい資質・能力の一つである「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる」ことについては、自分が共感、納得した叙述部分を取り上げ、自分の考えとしてしまう児童もあり、文章を精査・解釈し、既有的知識や経験と結び付けて考えを形成する力を育成していくことが課題である。

(3) 指導観

指導に当たっては、児童が単元のゴールに向けて目的意識をもてるよう、単元の導入時に自分が伝えたい日本文化を選んだ上で、学習に入ることとする。また、文章の内容を正確に理解できるように、言葉の意味を児童が調べたり、必要に応じて児童同士で文意を補えるように交流したりしながら文章を読んでいく。

なお、本単元では、〔知識及び技能〕の指導事項（１）クを扱うため、教材文中から見付けた比喻や反復など、修辞法に係る事柄を表にまとめて掲示し、「日本文化のみりよく」について書きまとめる際にも使えるようにすることで、「読むこと」「書くこと」両方の学習を通して〔知識及び技能〕の資質・能力を効果的に育成していきたい。

教材文を精査・解釈する過程では、事実と感想、意見の関係を押さえながら、筆者が鳥獣戯画を「人類の宝」だと述べている理由を解釈するために必要な情報を見付けていく。事実と意見の区別がつきづらい児童がいることが依然として想定されるため、筆者の意見と事実がどこに書いてあるのか線を引きながら読み進めていくことで、視覚的に事実と意見の違いが捉えられるようにする。さらに、考えをまとめる際に考えの視点を示すことでスモールステップで考えをまとめられるようにする。

単元後半の「日本文化のみりよく」を書きまとめる際には、自分が伝えたい日本文化の魅力を端的に伝えるとともに、その理由についてのみ詳しく書き表すことを意識させるために、400字程度の字数制限を設ける。併せて、教材文を読んで見出した表現の工夫を用いて文章を書かせることで、前述のとおり、確実に表現の工夫に気づき、用いることができるようにしたい。

3 単元の目標

- 比喻や反復などの表現の工夫に気付くことができる。

〔知識及び技能〕（１）ク

- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕 B（１）ウ

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕 C（１）オ

- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切を自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

「学びに向かう力、人間性等」

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 比喻や反復などの表現の工夫に気付いている。 (1)ク	① 「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 (B(1)ウ) ② 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめている。 (C(1)オ)	① 粘り強く、選んだ日本文化の魅力が伝わるように簡単に書いたり詳しく書いたりして自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、事物の良さが伝わる文章を書こうとしている。

<評価の具体及び手立て>

	評価規準【「おおむね満足できる」状況(B)】	「努力を要する」状況(C)と判断した児童への指導の手立て
知識・技能①	<p>比喻や反復などの表現の工夫に気付いている。 (1)ク</p> <p>ノート(児童の記入例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はっけよい、のこった。」という書き出しの工夫で読者を惹きつけている。 ・「からめて返し技。」「なんと、かわづ掛け。」などの体言止めでスピード感を出している。 ・「なんと」「おっと」などの言葉が実況中継のようで臨場感を出している。 ・「めくってごらん。」「今度は君たちが考える番だ」などの読み手に語り掛ける言葉で、興味を引こうとしている。 ・「でも、それだけではない。」と逆説を使うことで、さらに魅力があることを期待させている。 ・「どうだい。」「～だろう。」「同じだね。」などの言葉で読み手の同意を誘い、説得力を高めている。 ・文章中に問いかけを入れることで読み手に考えることを促している。 ・語尾が「なのだ。」「ちがいない。」「としか思えない。」など言い切りの形になっていて説得力がある。 <p>※これらの修辞法に係る表現について、2点以上気付いている児童を「おおむね満足できる」状況(B)とする。なお、これまでに学習した表現の工夫については、児童と一緒に整理して掲示しておき、それを確認しながら、教材文中の表現の工夫に気付けるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・蛙や兎の動きがよく伝わってくるのはどこか考えさせ、表現の工夫に気付くことができるようにする。 ・学級で整理した、表現の工夫の一覧を参考にしながら、教材文中にあてはまる表現がないかどうか探すようにする。

<p style="writing-mode: vertical-rl;">思考・判断・表現①</p>	<p>一人1台端末</p> <p>まず、高畑さんは鳥獣戯画の魅力の一つに、文字がなくても何を明しているかわかるように自由闊達に描かれているところだと説明しています。「墨一色、抑揚のある線と濃淡だけ」のびのびと見事な筆運び。その気品。と体言止めを使って歯切れよい文章にし、私たちにその魅力を伝えてくれました。その文章を読んでもう一度「鳥獣戯画」を見ると本当に声が聞こえてきそうでした。そのおかげでアニメや漫画の祖となり、今の私たちに楽しみを与えてくれています。私はこれまでの人々もその絵に魅力を感じてきたから、今の時代まで大切に保存してきたのだと思います。こうして大切にされてきた「鳥獣戯画」を大切にしていきたいといけなれと思われました。</p> <p>同じように今の時代まで大切に受け継がれたものに、歌舞伎があります。歌舞伎について調べた本には、指先の動きや視線にまで神経を張り巡らされた所作は、言葉を発さなくても、登場人物の心情や状況を観客に伝えることができるということが説明されていました。これは、今のドラマや舞台の演技でも大切にされていることだと思いました。私は、歌舞伎を実際に見たことがなかったので、難しそうだと思っていましたが、演じる人の動きを大切にしていることが今の日本の文化につながっていると思いました。これは鳥獣戯画と同じだと感じました。</p> <p>このことから鳥獣戯画や歌舞伎だけでなく、何百年も昔から受け継がれてきた文化には、それぞれ受けついでた時代の人たちが感じた魅力や価値があったから、大切にされたのだらうと思います。だからこそ、長い時間をかけて現代まで受け継がれてきた文化は、どれも「人類の宝」なのだ実感しました。私も、長い間受けつがれてきた文化を次の時代に伝える一人として、自分なりに魅力を見つけ、大切にしていきたいです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>既 有 の 知 識 と 理 解 し た 内 容 と 結 び つ け て 考 え を 形 成 し た 部 分</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>既 有 の 知 識 や 理 解 し た 内 容 と 結 び つ け て ま と め た 部 分</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>文 章 の 内 容 や 構 造 を 捉 え、 精 査・ 解 釈 し な が ら 理 解 し た こ と を 基 に し て ま と め た 部 分</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> なぜ「鳥獣戯画」が長年大切にされ、守られてきたと思うか考えさせ、筆者が「鳥獣戯画」を「人類の宝」と言っていることに対して、自分の意見をもてるようにする。
<p style="writing-mode: vertical-rl;">思考・判断・表現②</p>	<p>一人1台端末</p> <p>日本には、歌舞伎という、世界にじまんでできる伝統芸能がある。</p> <p style="border: 2px solid red; padding: 5px;">歌舞伎は、華やかな衣装や化粧が印象的で、役者の顔に施された隈取は、歌舞伎特有の魅力だ。これら海外でも人気の理由の一つとなっている。</p> <p style="border: 2px solid blue; padding: 5px;">しかし、私が伝えたい歌舞伎の魅力は見た目の華やかさではない。洗練されたその所作だ。指先の動きや視線にまで神経を張り巡らされた所作は、言葉を発さなくても、登場人物の心情や状況を観客に伝えることができる。小道具の使い方や袖の動きまで計算されており、それらは歌舞伎の美しさを生み出しているのだ。</p> <p style="border: 2px solid blue; padding: 5px;">このように、歌舞伎は伝統的な所作を大切にしてきたのだ。その所作こそ、歌舞伎の華やかさを根底で支えているといえるだろう。</p> <p>(傍線部は表現の工夫を用いた部分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本文化の魅力を箇条書きで書き出し、自分が一番伝えたいみりよくはどれかを整理して、書き表し方を工夫できるようにする。
<p style="writing-mode: vertical-rl;">主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>粘り強く、選んだ日本文化の魅力が伝わるように簡単に書いたり詳しく書いたりして自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって事物の良さが伝わる文章を書こうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「発見、日本文化のみりよく」の学習において、自分が選んだ日本文化について、その良さを伝える文章を書く活動に粘り強く取り組んでいる。また、「『鳥獣戯画』を読む」の学習において見付けた筆者の表現の工夫を、自分の文章に取り入れようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材の例文を参考にできるような提示したり、話型を示してどのようなことを書けばよいのか視覚的にわかりやすいようにしたりする。

5 指導と評価の計画（全 10 時間）

次	時	学 習 内 容	評 価			
			知	思	主	評価規準・評価方法 等
一	1	○本単元の学習の流れを確認する。・筆者が鳥獣戯画をなぜ「人類の宝」というのかについて、並行読書しながら自分の考えをまとめる活動を通して読む力を付けていくことを確認する。				
二	2 ・ 3	○内容の大体を捉える。 ・言葉の意味調べをしたり、段落の要旨をまとめたりして文章の関係を捉えながら、本文の内容を正確に理解する。 ・本文中の事実と意見に違う色で線を引いたり、つながる段落を結んだりしながら文章の内容についての理解を深める。 ○筆者の工夫を捉える。 ・筆者の表現の工夫に注目し、それぞれにどんな効果があるのか考えたり、図と文章の関係について捉えたりし、読み手にどのような効果があるのか考える。	○			[知識・技能①] <u>ワークシート</u> ・比喻や反復などの表現の工夫に気付き、印を付け、どんな効果をもたらすかの理由の確認
	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 (本時)	○筆者が考える人類の宝とは何か捉える。 ○筆者が考える鳥獣戯画の魅力は何か捉える。 ・本文から必要な情報を見つけ、筆者が考える鳥獣戯画のみりよくについて自分の考えをまとめる。○自分が選んだ日本文化の魅力は何か捉える。 ・資料から必要な情報を見つけ、自分が選んだ日本文化のみりよくについて自分の考えをまとめる。 ○日本文化の魅力について自分の考えをまとめる。 ・必要な情報と既存の知識を結びつけ、見出した共通点やそこから考えたことをまとめる。		○		[思考・判断・表現①] <u>一人1台端末</u> ・文章を読んで精査・解釈したことに基づいて、自分の考えをまとめているかの確認
三	8 ・ 9	○日本文化の魅力が伝わる文章を書く。 ・必要な情報を見つけ、自分の感じたみりよくについて、表現の工夫を用いながらまとめる。 ・自分が選んだ日本文化のみりよくについてまとめたことを共有する。		○	○	[思考・判断・表現②] <u>一人1台端末</u> ・筆者の工夫を用いて、自分の考えが伝わるように書いているかの確認 [主体的に学習に取り組む態度①] <u>児童の様子</u> ・自分が選んだ日本文化の魅力が伝わるように表現しながら、粘り強く文章を書こうとしているかの確認

四	10	<p>○学習を振り返り、この学習がどのようなときに生かすことができるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none">・どうやって・・・。・この単元を通してなにができるようになったか、またはできなかったことはなにか。・次やってみたいこと、生かしたいことはなにか。				
---	----	---	--	--	--	--

6 本時の学習

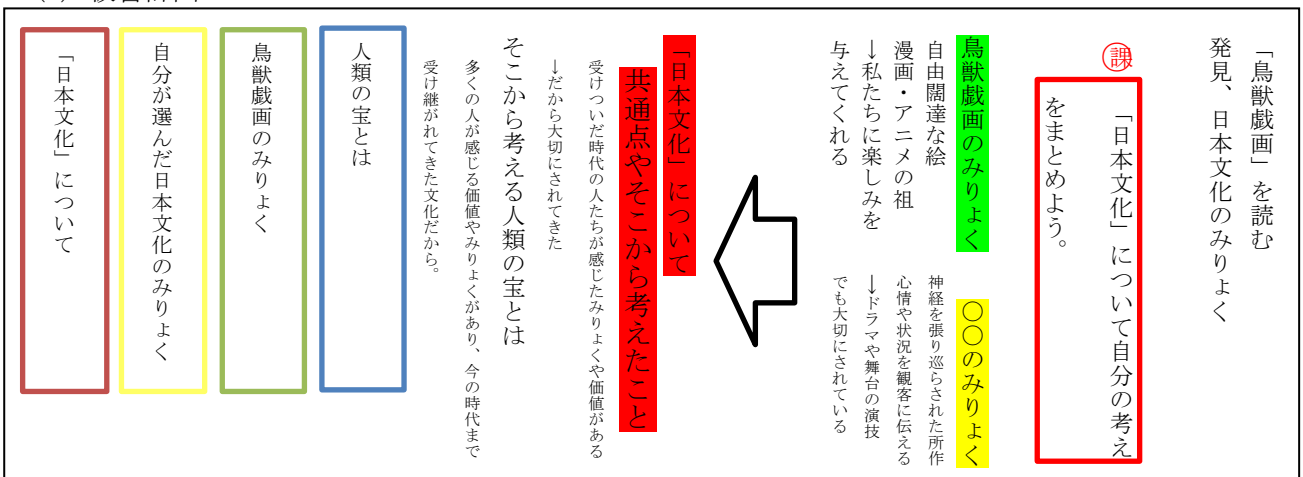
(1) 本時の目標

筆者が鳥獣戯画を「人類の宝」と考えているのかについて、これまで文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。

(2) 学習の展開

学習活動	○指導上の留意点 □主な発問 ・予想される児童の反応 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
<p>1 教材文を音読し、本時のめあてを確認する。</p> <p>2 筆者が考える鳥獣戯画の魅力について振り返る。(5分)</p> <p>3 自分の考えをまとめる。(20分) 鳥獣戯画と自分が選んだ日本文化の魅力の共通点を探し、「日本文化」の魅力は何かまとめる。またそこから考えたことや感じたことをまとめる。</p> <p>4. ふり返しをする。(5分)</p>	<p>□筆者が考える鳥獣戯画の魅力にはどのようなものがありましたか。 ・自由闊達な絵。 ・漫画やアニメの祖となっていること。 ・今の時代まで伝えられ、私たちに楽しみを与えてくれていること。</p> <p>□「日本文化」について自分の考えをまとめよう。</p> <p>◆文型を示し、書き方の見通しをもてるようにする。</p> <p>□本時の振り返りをしましょう。 ・鳥獣戯画と歌舞伎の魅力の共通点を見つけることで、日本文化の魅力について自分の考えをまとめることができた。 ・人類の宝とはどのようなものか自分で考えるのは難しかったけど、いろんな友達の意見を聞いて、自分の考えを書くことができた。 ・次は、自分が選んだ日本文化を表現の工夫を使って、良さを伝える文章をまとめたい。</p>	<p>文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 〔思考・判断・表現①〕 (一人1台端末)</p>

(3) 板書計画



7 指導の実際

(1) 指導上の工夫

ア 単元の見通し

- 単元の初めに単元計画を立てた。また、単元のゴールに向けて並行読書ができるよう教室に並行読書コーナーを設置した。(図1)



図1 並行読書コーナー

イ 教材

- 考えまとめるシートを作成し考えの視点を示すことで、スモールステップで自分の考えを形成できるようにした。それと同様に日本文化の魅力をまとめる際にも自分が1番伝えたい魅力は何か整理して考えられるようにワークシートを用いた。考えまとめるシートでは、一人1台端末を活用することで修正や加筆しやすいようにした。(図2)

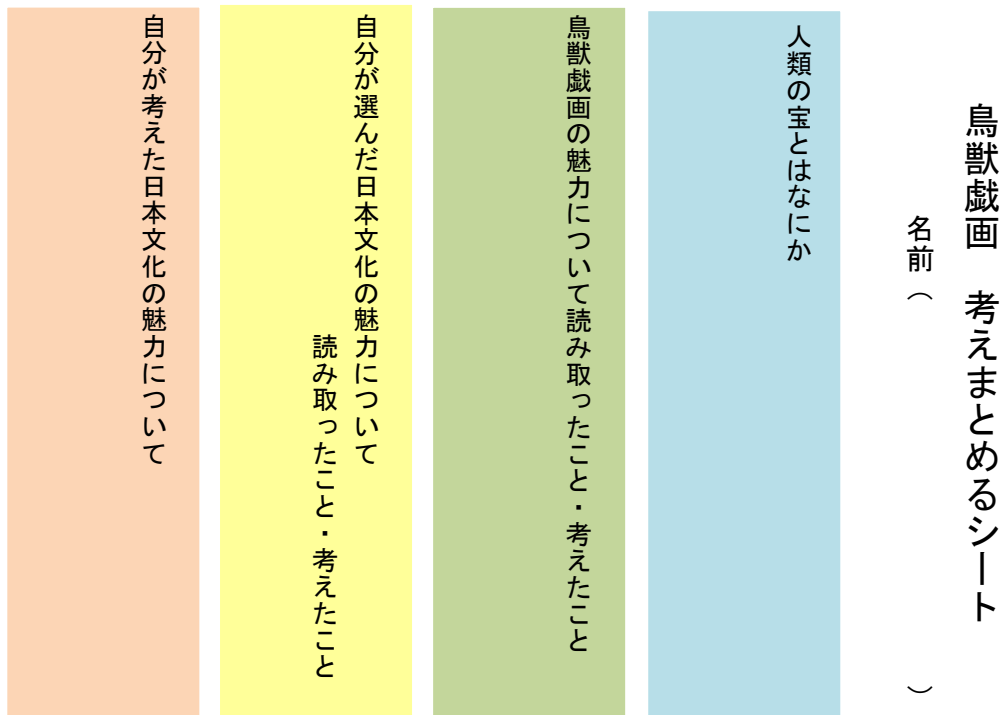


図2 考えまとめるシート

- ・ 正しく文章を精査解釈するために教材文の全文を1枚にまとめたシートを用いて、筆者の意見（赤）と事実（青）に線を引きながら文章を読んだ。（図3）



図3 教材文シート

ウ 揭示

- ・ 「『鳥獣戯画』を読む」の文章から見つけた修辞法を表にまとめて揭示し、「日本文化のみりよく」をまとめる際に使えるようにした。

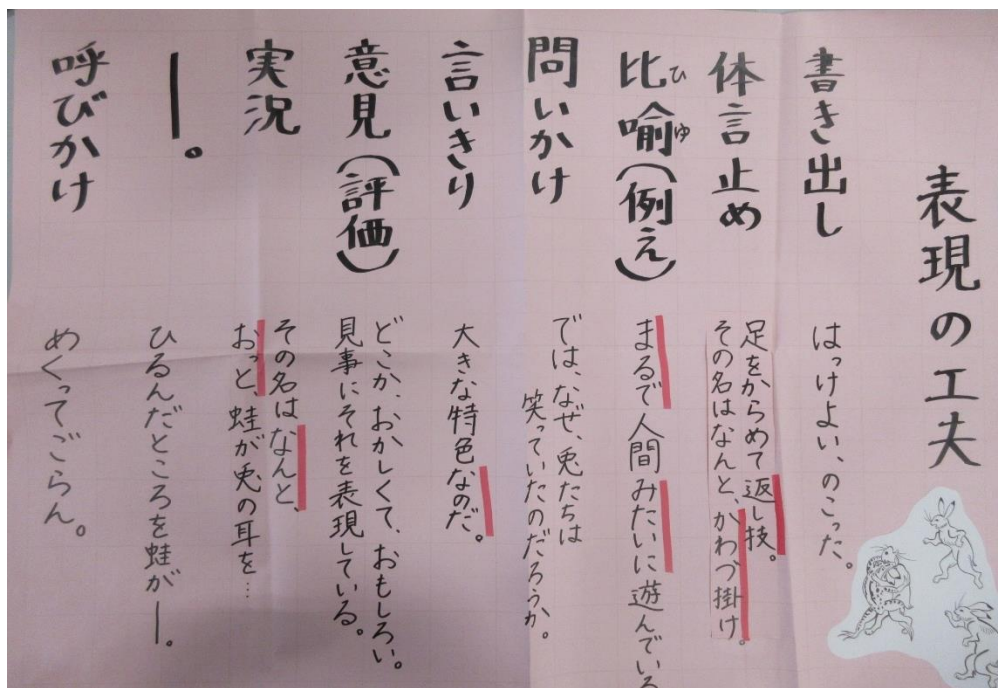


図5 修辞法についての揭示

(2) 児童のつまずきと実際に講じた手立ての具体

- 単元導入時から設けていた並行読書コーナーにある本を読ませることで、日本の文化についての知識や興味を深めるために活用した。第6時の自分が選んだ日本文化の魅力をまとめる時間までに読書コーナーを活用して本を読み、興味のある日本文化を考えておくことで日本文化についての知識を広げられるようにした。
- 第5時で筆者が考える鳥獣戯画の魅力は何か捉える活動を行った際に筆者が挙げた鳥獣戯画の魅力を複数抜き出して自分の考えにしようとする児童がいたため、理解したことから自分が感じたことや考えたことを加筆できるよう、黒板に文例を書いた。また、手が止まっている児童には机間指導の際に筆者が挙げた鳥獣戯画の魅力を読んで自分が何を感じたのかを書き出し、自分の意見を入れられるようにした。

8 評価の実際

(1) 評価の具体

【知識・技能】

「十分満足できる」状況 (A)
 修辞法に係る表現に複数気付き、なぜ筆者がその効果を用いたのかについて、短い文でまとめている (ワークシート上段の赤字部分)。

⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	段落	名前
おどろくべきだろう あまのうらやま(1)	長い物語をよめたしなる 長い物語の面白さを助ふるため	今度は君たちか考へる番だ 深んまをほしめよう	鳥獣戯画の設定を助ふるため よくまじりあわせよう	絵巻に注目してほしめよう あまのうらやま(1)	投げ飛ばした蛙のロケリ線が出ているのにさかづいたがな あまのうらやま(1)	どうだい あまのうらやま(1)	まん面の粗もよわられる あまのうらやま(1)	ひろんだてこうを狂か あまのうらやま(1)	表現の工夫	続きが見たくなる
										効果

「鳥獣戯画」を読む

「おおむね満足できる」状況 (B)
 修辞法に係る表現に気付き、その効果について、端的にまとめている。

⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	段落	名前
なんどでもせおどろくことだろう あまのうらやま(1)	とされることなく続いているのは日本文化 の大きな特色なのだ あまのうらやま(1)	ではもう一度この場面全体を見てみよう あまのうらやま(1)	てはなせ究つたは笑っているのだろうか あまのうらやま(1)	「ええい」とか「ゲロロ」とか「面白い」の あまのうらやま(1)	どうだい あまのうらやま(1)	たわりにびべとペーゾをくめてごらん あまのうらやま(1)	まんて人間みだいに遊んでいる あまのうらやま(1)	ひろんだてこうを狂か あまのうらやま(1)	表現の工夫	続きが見たくなる
										効果

「鳥獣戯画」を読む

【思考・判断・表現①】

「十分満足できる」
状況 (A)

文章を読んで理解したこと(緑)などから形成された自分の考え(青)を表現している。また、鳥獣戯画の魅力(緑)と日本文化の魅力(黄)の共通点を見つけて分かったこと(赤)、そこから考えたこと(赤傍線)を書いている。

日本文化の魅力は、とぎれることなく伝えられてきたことだと思えます。つづられた時と今で形は変わっていても、今の時代まで伝えられ、私たちの生活を豊かにしてくれているからです。鳥獣戯画は、今では漫画やアニメとして、和食だと、アレンジしたり手間をかけるように作られるよう工夫したりされながら、受け継がれています。このように途切れないよう伝えられ、受け継がれてきているところが日本文化の魅力だと思えます。なので、私もこれらの受け継がれている日本文化を大切にしていきたいと思えます。

和食の魅力は、平安時代から現代まで少しずつ形を変えながら受け継がれてきたところだと思えます。和食の特徴の「汁三菜」は、健康的な食事の構成として今も根付いています。また、和食と洋食のよいところを混ぜてアレンジしたり、手間をかけるに家庭で簡単に作れるよう工夫したりされながら、受け継がれていて、形を変えながら時代に合わせて受け継がれているところが魅力だと思えました。

鳥獣戯画は、描かれてから八五十年、祖先たちが家事や変転のたびに救出して、この絵巻物を大切に保存し、今の私たちに伝えてくれているところが魅力だと思います。なぜかという、伝えてくれないなかつたら漫画やアニメなどのわたしたちを楽しませてくれているものもなかったかもしれないからです。

受け継がれてきた日本文化があることで豊かな生活ができていますので、人類の宝といえると思えます。昔の人々の努力により少しずつ形を変えながら受け継がれてきた日本文化があるおかげで、私たちは楽しい人生を送ることができています。なので日本文化は人類の宝だといえると思えます。

鳥獣戯画考えまとめるシート
名前 ()

「おおむね満足できる」状況 (B)

文章を読んで理解したこと(緑)などから形成された自分の考え(青)を表現している。また、鳥獣戯画の魅力(緑)と日本文化の魅力(黄)の共通点(赤)を述べている。

日本文化の魅力は、古くからあるものが今も大切に残されていることだと思えます。そしてそれをいろんな人に伝えていっているところも魅力だと思えます。

日本の建築物の魅力は、見た目の美しさや、丈夫さ、作り方の技術です。今でも大切に残されているものもたくさんありその技術は今も伝えられています。

鳥獣戯画の魅力は、この絵巻物を大切にし、私たちに伝えられたことが魅力だ。わけは八五十年も大切に保存されてきたおかげで、漫画の祖、アニメの祖として美術の技術が伝わったからだ。

人類の宝とは今も大切にされ、伝えられてきていて伝統や文化になっているものだと思う。

鳥獣戯画考えまとめるシート
名前 ()

【思考・判断・表現②】

個性あふれる風鈴

日本には、風鈴という、世界に自まんでできる文化があります。風鈴の音には、リラックス効果やストレス軽減の効果があります。また、夏の風物詩として、涼しさを感じさせることがよく知られています。これらは風鈴を紹介するうえで、欠かせない特徴だと思います。

しかし、私が一番伝えたい風鈴の魅力は別にあります。それは、今の風鈴には多様な色があり、ガラスに特殊な加工を施した、虹色、津軽びいどろの鮮やかな色彩など使う人によって個性あふれる風鈴の色や種類などがあります。例えば、自分の好きなものが描かれているものなど自分にとって合った風鈴を選ぶことができます。昔の風鈴は金属製で種類は多くありませんでした。ですが伝えられる間に、様々な種類が増え、少しずつ形も変わってきました。

このように、風鈴は受け継がれていく中で形を変えてきたことで、自分に合った様々な風鈴を選び楽しむことができるようになりました。そして、誰にも縛られず自分の心を写してくれるから、それぞれ、風鈴の本当の価値があるのだと思います。

「十分満足できる」状況 (A)

意図に応じて簡単に書いたり (青枠) 詳しく書いたり (赤枠) して、自分の考えが伝わるように表現の仕方を工夫して書いている。

他の学年に最も伝えたい、自分が考える風鈴の魅力についてより詳しく書いている。

自分の意見

自分の意見

「おおむね満足できる」状況 (B)

意図に応じて簡単に書いたり (青枠) 詳しく書いたり (赤枠) している。

「書道が教えてくれたこと」

日本には、書道という世界に自慢できる元統文化や美術文化がある。

書道については、字がキレイに書くことができ、バランス的であることや字に含まれる「止め」「はらい」「はね」によって字のキレイさやバランスの良さが知らされている。それらは、字のバランスのうえで欠かせない特長だ。

しかし、私が一番伝えたい書道の魅力は、別にある。それが、書道は文字を書くだけではない、集中力や思考力がアップするという点だ。書道は、字の「バランス」「間の空間」「場所」をいかして書くことを大事にしている。例えば、習字では、字を書くこと。定版的な書き方は、「止め」「はらい」「はね」だからこそ、丁寧にバランスの良い字を書くことができる。他にも、鳥獣戯画のように絵だけでなく絵を書くのも、習字ならではの。さらに、習字は、昔からある有名な元統文化や美術文化でもある。

このように、習字には、集中力と思考力をアップさせたり、字をキレイに書こうとする心がある。そこにこそ、習字の本当の価値があるのだ。

※誤字があるが児童の原文ママとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

「十分満足できる」状況 (A)
 日本文化の魅力が伝わるように書き表し方を工夫し、表現の工夫を複数取り入れながら日本文化の良さが伝わる文章を書こうとしている。

和柄と言われてあなたは何を思い浮かべる？
 日本には、和柄という、世界に自慢できる日本ならではの柄がある。
 和柄にはたくさん柄の種類がある。例えば、4つの季節の植物がモチーフになってきた「植物文様」やおめでたい意味を持ち、お祝いの時の着物によく使われている
 縞などある規則に沿って直線や曲線を繰り返す文様「幾何文様」など美しい和柄にはたくさん柄があり、たくさん種類に分けられている。そして驚くべきことにこれだけでも三十種類というたくさん柄があるのだ。
 そして日本にはたくさん柄を合わせて、使えるきれいな伝統色がある。例えば草の根から染料を作った紫や赤、緑色の萌葱色など下の資料のような古い伝統色をしている和柄はと紺碧という色だ。そして、日本の伝統色は、数色から四百〜五百色以上まであると言われている。これらの美しい日本の伝統色で彩る和柄は、色と模様がとてもマッチしやすく、そして色を少し変えただけで、和柄の印象がとも変わる。そして、和柄は老若男女、問わずとも使いやすいのだ。
 このように和柄には、植物や動物をモチーフにしたきれいな柄がたくさんある。そしてお祝いのときに使う柄など使う場面に合わせた意味もある。和柄はデザインだけではなく、文化的で先進的な魅力もあるのだ。

美しい和柄

日山 芽衣



問いかけ

言い切り

「おおよそ満足できる」状況 (B)
 日本文化の魅力が伝わるように自分の考えをまとめ、表現の工夫を取り入れながら日本文化の良さが伝わる文章を書こうとしている。

和太鼓の魅力
 和太鼓は、とても迫力があります。その大きな音には、心が揺さぶられる力があるんです。そして、リズムに合せて体を動かす楽しさもたくさんあります。さらに、和太鼓を叩くという行為は、集中力や協力する力も必要なんです。つまり、和太鼓をすることで、いろんな力を養うことができるんですよ。
 和太鼓の魅力は、ただ迫力があるだけではありません。和太鼓を叩く時の表情や姿勢も、とても力強くかっこいいんです。太鼓を叩く時は、自分の気持ちや思いを表現することもできます。無邪気に楽しむ表情や、真剣な表情など、自分の感情がそのまま表れるんです。そして、和太鼓を叩くことで、自分自身の力を感じることもできますよ。
 和太鼓は、昔から日本の伝統文化として大切にされてきました。そのため、和太鼓を叩くことは、先人たちの知恵や技術、そして心を感じる事ができるんです。
 このことにより、和太鼓は、迫力と、心を揺さぶられる力があります。



呼びかけ

(2) 児童の評価
 【知識・技能①】

「比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。」における「十分満足できる」状況 (A) の児童は8人、「おおむね満足できる」状況 (B) の児童は14人、「努力を要する」状況 (C) の児童は3人だった。

【思考・判断・表現①】

「読むこと」において文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。」における「十分満足できる」状況（A）の児童は5人、「おおむね満足できる」状況（B）の児童は16人、「努力を要する」状況（C）の児童は4人だった。

【思考・判断・表現②】

「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。」における「十分満足できる」状況（A）の児童は3人、「おおむね満足できる」状況（B）の児童は16人、「努力を要する」状況（C）の児童は6人だった。

【主体的に学習に取り組む態度】

「粘り強く、選んだ日本文化の魅力が伝わるように簡単に書いたり詳しく書いたりして自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって事物の良さが伝わる文章を書くこととしている。」における「十分満足できる」状況（A）の児童は3人、「おおむね満足できる」状況（B）の児童は21人、「努力を要する」状況（C）の児童は1人だった。

9 成果と課題

(1) 成果

- ・ 考えをまとめる際に、鳥獣戯画の魅力について、自分が選んだ日本文化の魅力について、日本文化の魅力についての4段階に分けてスモールステップで進めていった。また、学習支援アプリでワークシートを作成したことで、加筆・修正も容易になった。そうすることで書くことに苦手意識がある児童も書くことへの抵抗感が下がり、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができた。
- ・ 日本文化の魅力が伝わる文章を書く前に、その事物の魅力をメモしておき、1番伝えたい魅力は何か整理しておくことで、文章を書くときに自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書きやすくなった。

(2) 課題

- ・ 鳥獣戯画の魅力と日本文化の魅力について自分の考えをまとめる際に、双方の知識、内容を結びつけて考えを形成することが難しかった。原因として日本文化に対する知識が浅く知識が深められなかったことが挙げられる。よって、鳥獣戯画と自分の選んだ日本文化の2つから解釈したことだけでは、内容を結びつけることができなかった。そこで、自分が選んだ日本文化の魅力をまとめる前に、全体交流で鳥獣戯画の魅力とつながる部分について確認することで、自分の言葉で考えをまとめられたのではないかと考える。また、単元の流れとして、考えの形成をする前に自分が選んだ日本文化の魅力について調べ、文章を書くことで日本文化に対する理解を深めたいうえで考えの形成に臨めるため、児童の思考がスムーズになると考えた。
- ・ 日本文化の魅力を書く際に、表現の工夫の幅が広がらなかった。「『鳥獣戯画』を読む」から筆者の工夫を見つけた際に、例えばどんな使い方ができるかを確かめるために文を作ってみることなどで理解が深まり、もっと活用できたのではないかと考える。

(3) 今後に向けて

- ・ 本単元は「『鳥獣戯画』を読む」と「発見、日本文化のみりよく」の複合単元としており、自分が紹介したい日本文化についてまとめることをゴールとしたため、並行読書を行いながら学習を進めた。そうすることで児童は単元のゴールに向けて目的をもって読み深めることができたが、日本文化についてもっと一人一人が関連図書などを読んでおくこと、知っておくことが必要だったと感じた。単元に入る前から読書コーナーを設けるなどの取り組みをしていきたい。

- ・ 自分の既宧の知識や経験と文章から読み取った内容を結びつけて自分の考えをまとめることで、筆者が伝えたいことを自分の中により深く落とし込むことができたのではないかと考えた。これはどの教科においても共通することだと思つので他教科でも既宧の知識や経験とつながるところがないか考え言葉にすることを意識して取り組んでいきたい。

付録 選書リスト

書名	著者名	出版社名
調べる学習百科 鳥獣戯画を読みとく	五味 文彦 (監修)	岩崎書店
十二世紀のアニメーション 国宝絵巻物に見る映画的・アニメ的なもの	高畑 勲	徳間書店
再発見！くらしのなかの伝統文化1～6	市川 寛明 (監修)	ポプラ社
世界遺産になった食文化〈8〉 日本人の伝統的な食文化 和食	服部 津貴子 (監修) こどもくらぶ (編集)	WAVE 出版